

新春を迎えて

函館市長 工藤 壽樹



明けましておめでとうございます。

令和2年の新春を皆様とともに
もにお迎えできますことを心
からお喜び申し上げます。

今年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。北海道では、札幌市でマラソン、競歩、サッカーが行われ、本市もカナダのホストタウンとして登録され、バドミントンチームが事前合宿を行います。海外からも多くの方が訪れ、世界の注目が集まるこの絶好の機会に「函館」を広くPRし、知名度を高めてまいりたいと考えております。

さて、人口減少や少子高齢化が進行し、地域を取り巻く状況が大きく変化するなか、本市では、子どもの貧困対策

として、子ども・ひとり親家庭等医療費助成制度の拡充や

児童保育の保護者負担の軽減など経済的負担の軽減やきめ細やかな支援を行い、子育てしやすい環境の整備に取り組みむとともに、高齢者や障がい者、子育て世帯などを地域で見守り支えるため、地域包括支援センターの機能を拡充した福祉拠点づくりに向けた検討を進めています。

また、地域コミュニティの中核を担う町会や自治会の加入率の低下など、課題の解決を図るため、まちづくり団体など様々な分野の方々と構成する町会活性化検討会議を立ち上げ、将来に向けて安定した町会運営が持続できるよう、町会活性化に向けた検討も進めています。

さらに、学校と地域住民等が力を合わせ地域と一体となつて特色ある学校づくりを進めるコミュニティスクールを全ての市立学校に導入したところであり、こうした地域のつながりを育む三つの仕組みづくりを通じて、行政、関

係機関や町会、学校などが連携し、地域全体で見守り支える体制づくりに取り組んでまいります。

本市の平均寿命は全道・全国平均よりも下回っていることから「はこだて市民健康大学」などにより、生活習慣病対策の充実や食育の推進を行うほか、がん検診の受診率向上に向けた取り組みを強化するなど、健康づくりへの関心を高め、健康寿命の延伸を図ります。

これらの施策を通し、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

本市における、平成30年度の観光入込客数は526万人を超え、北海道新幹線の開業以来、2年ぶりに増加したところです。



はこだて市民健康大学

クルーズ船については、今年度、過去最多の47隻が寄港し、好調を維持していることから、今後も若松ふ頭の旅客ターミナルの整備を進めるとともに、年間70隻の寄港を目標に積極的なポートセールスを展開してまいります。

さらに、年間を通していつもイベントが開催され、賑やかで活気のあるまち「フェスティバルタウン」の形成や、多くの人が訪れるグルメのまちをめざす「食の産業化」の推進などにより、交流人口の拡大に取り組んでまいります。

また、道路の美装化など、デザイン性の高い町並みの整備を行うとともに美しい町並みの形成をめざす「ガーデンシティ函館」や、居住と観光が融合した西部地区の再整備に向けた取り組みなど、まちの魅力を一層高めるための施策も推進してまいります。

このように、私は
○市民一人ひとりの幸せを大切に

○函館の経済を支え強化する
○快適で魅力あるまちづくりを進める

を柱として、市民が生き生きと幸せを実感しながら、いつまでも住み続けたいなるまちづくりに取り組んでまいります。

すので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。
結びにあたりまして、新しい年が皆様にとりまして、喜びと幸せに満ち溢れた年となりますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

HP 函館市長

新春ご挨拶 (テレビ・ラジオ番組)

市民ニュース (STVテレビ)
1月4日(土)午前11時54分
※ 手話通訳あり

市民の時間 (HBCラジオ)
1月1日(水)午前10時50分
市政だより (FMいるか)
1月1日(水)午後3時

函館市年賀会

日時 1月6日(月) 午前11時
会場 ホテル函館ロイヤル
会費 1人3,000円
※ 会券をお持ちでない方は、当日会場で受付します。
お問合せ 人事課 ☎21-3667

